

2025年度 早稲田大学大学院教育学研究科

高度教職実践専攻入学試験

(一般入試(後期日程):筆記試験(教職教養))

問題用紙

注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～4ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問 1. 以下の文章の空欄 (①) ～ (⑤) に入る最も適した語句を解答欄に書きなさい。

- (1) LGBT とは、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、それぞれ四つの性的なマイノリティの頭文字をとった総称で、性の多様性を表す言葉です。

一方、いわゆる「性的マイノリティ」は、この四つのカテゴリーに限定されるものではなく、LGBT のほかにも、身体的性、(①)、(②) 等の様々な次元の要素の組み合わせによって、多様な (①)・(②) を持つ人々が存在します。これらの英語の頭文字をとった「SOGI」という表現が使われることもあります。

【『生徒指導提要（改訂版）』文部科学省（令和 4 年 12 月）】

- (2) 「チームとしての学校」を実現するためには、次の 3 つの視点に沿って施策を講じていくことが重要である。

1. (③) に基づくチーム体制の構築
2. 学校の (④) 機能の強化
3. 教職員一人一人が力を発揮できる環境の整備

【『チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について』（答申）（平成 27 年 12 月）】

- (3) 学校安全の活動は、安全教育、(⑤) から構成されており、相互に関連付けて組織的に行うことが必要である。

【『「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育』文部科学省（平成 31 年 3 月）】

問 2. 以下の文章の空欄 (①) ～ (⑤) に入る最も適した語句を解答欄に書きなさい。

- (1) 奈良時代の律令制下では、中央及び地方に官吏養成のための教育機関が設けられていた。たとえば、中央には式部省が管轄する (①) が設置され、貴族の子弟に対し明経道や算道・書道などを教えた。また、地方には国司が管轄する (②) が設置され、郡司の子弟らを対象に儒学や医学の教育を行った。

- (2) 1917 年、第一次世界大戦後の教育政策を審議する目的で、内閣総理大臣直属の諮問機関である (③) が設置された。この (③) は、1919 年まで存続し、学制改革に向けて教育制度全般にわたる議論がなされた。結果、1918 年 3 月に成立した市町村 (④) 教育費国庫負担法により (④) 教育費の国庫負担が開始されたほか、高等教育の拡充に向け 1918 年 12 月に (⑤) が公布されるなど、この時期の教育に大きな影響を与えた。

問 3. 以下の文章の空欄 (①) ～ (⑤) に入る最も適した語句を解答欄に書きなさい。

学校給食法（1954 年）第 2 条では、適切な栄養の摂取による (①) の保持増進を図ること、学校生活を豊かにし、明るい (②) 及び協同の精神を養うこと、食生活が (③) の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び (③) を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと、食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、(④) を重んずる態度を養うこと、我が国や各地域の優れた (⑤) 的な食文化についての理解を深めること、などが給食指導を通じて実現をめざすべき目標として示されている。

問4. 以下の文章の(1)～(3)について、それぞれあてはまる記号を解答欄に書きなさい。

(1) 偏差値についての説明で、誤っているものはどれか。

- ア 偏差値は100を超えることがある。
- イ 偏差値は負の値になることがある。
- ウ 優秀な受験者が多いと偏差値の平均が50を超えることがある。
- エ 偏差値から素点を逆算するためには素点の平均と素点の標準偏差が必要である。
- オ 偏差値の標準偏差は必ず10である。

(2) 次のa～eのキーワードとその説明(①～⑤)の組み合わせで、正しいものはどれか。

- a ハロー効果 b ピグマリオン効果 c エンハンス効果
- d アンダーマイニング効果 e リンゲルマン効果

- ① 集団の中にいると、誰かがやってくれると考え、知らず知らず、一人でやっているときほど全力を尽くさなくなる。
- ② 教師が期待をした子どもは、期待に答えるような結果を出すようになる。
- ③ 一部の印象に影響を受けて、全体を良く(悪く)捉えたりしてしまう。
- ④ 他者から褒められたり評価されたりすることによって、意欲を高めていく。
- ⑤ 外から評価されることによって、好きだからやっていたことでもモチベーションが下がる。

- ア a - ③ b - ① c - ② d - ④ e - ⑤
- イ a - ③ b - ② c - ④ d - ⑤ e - ①
- ウ a - ⑤ b - ② c - ① d - ③ e - ④
- エ a - ④ b - ⑤ c - ③ d - ② e - ①
- オ a - ① b - ③ c - ② d - ⑤ e - ④

(3) 次の防衛機制a～eとその説明(①～⑤)の組み合わせで、正しいものはどれか。

- a 取り入れ b 投影 c 合理化 d 否認 e 補償

- ① 物事がうまく進まない時に、社会的に認められるような言い訳をする。
- ② 誰か別の人の行動や考えを無意識のうちに自分のことのように捉える。
- ③ うまいかない面や、劣等感を感じるものを他のものでカバーしようとする。
- ④ 自分の内面にある認めたくない感情や考えを持つ対象に対し、怒りや嫌悪を感じる。
- ⑤ 認めたくない感情や欲求を否定する。

- ア a - ⑤ b - ② c - ① d - ③ e - ④
- イ a - ① b - ② c - ③ d - ④ e - ⑤
- ウ a - ① b - ④ c - ② d - ③ e - ⑤
- エ a - ② b - ④ c - ① d - ⑤ e - ③
- オ a - ③ b - ② c - ④ d - ⑤ e - ①

問5. 以下の(A)～(D)のそれぞれの領域について、いずれかの語句を選び、その説明を解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ語句をそれぞれ記入すること。

- | | |
|-------|---|
| 領域(A) | ☐ STEAM教育
☐ オープン質問(オープン・クエスチョン) |
| 領域(B) | ☐ 適塾
☐ アメリカ教育使節団 |
| 領域(C) | ☐ 子どもの権利条約
☐ 特別非常勤講師制度 |
| 領域(D) | ☐ QRP(Questionable Research Practices)
☐ 二重拘束(ダブルバインド) |